

テーマ「市民がまちを変え、市民が



# まちづくりの集いを開催

テーマ

市民がまちを変え、市民がまちを創る

市民の皆さんとの対話行政の一環として、市内の各会場において、まちづくりの集いを開催しました。今月号から、地区ごとにいただいた提言の一部を紹介していきます。

今後は、皆さんからのご提言・ご要望を十分に検討し、市政に反映していきたいと考えています。

今回は、龍野地域でいただいた内容を抜粋して掲載しています。

## 龍野地区

**問** 点字ブロック等を設置し、バリアフリーやユニバーサルデザインを増やし、誰もが安心して観光できるようにしたい。また、外国の観光客のために英語の案内板を設置し、観光しやすいまちにしたい。(小学生)

**答** 点字ブロックは、道路が狭く、歩道と車道が分離されていないため設置は難しいですが、今後の参考にします。

現在は日本語だけの観光案内板が多く、今後は英語だけでなく中国語等を含めて検討します。

でなく中国語等を含めて検討します。

**問** 老朽化した空き家が多く不審者が潜み犯罪が起こる可能性もある。そこで空き家のシャッターに絵を描く空き家アートをしようか。地域の住民や観光客を楽しませることができるといい。(中学生)

**答** 空き家アートという発想は良いと思います。歴史的町並みに合うかどうかも含めて龍野地区には、古い町並みの保存に取り組む「まちづくり協議会」がありますので相談してください。

次世代につながる桜の植樹が必要である。

観光客をもてなす案内看板が相当傷んでいる。案内板を見直してはどうか。(まちづくり協議会)

**答** 一度、専門家に相談し、回答させていただきます。案内板は市又は観光協会が設置していますので確認します。一度に整備できませんので年次計画を立て、状態の悪いものから整備したいと思います。



**問** 龍野小学校のカラタチの花の復元にご協力を。また、龍野公園のソメイヨシノは、約60年が寿命と言われており、まさにその時期が来ている。

**問** 龍野実業高等学校跡が避難所になっているが、鍵がかかっているため、災害時に避難ができない状態である。自治会に鍵を預けていただきたい。また、跡地利用について何か計画があるようでしたら教えてください。(自治会)

**答** 県から誰が入っても困る

たつのプレミアム商品券の有効期限は、

# 9月30日(水)まで!

有効期限を過ぎると利用できませんのでご注意ください。

商工観光課 (☎64-3156)

とのことで、市が鍵を二つ預かっています。一つは危機管理課で、もう一つは教育委員会が保管しています。災害時には市で鍵を開けますのでご理解願います。

跡地利用については、県から照会があり、使用目的は別にして使用したいと回答しています。今のところ具体的な利用方法は決まっています。県も求めています。

**問** 龍野小学校でも来年は耐震工事が行われるが、それまでの間、不安がある。災害はいつやってくるかわかりませんので、早く耐震補強工事を進めていただきたい。(消防団)

**答** 市では、小学校・中学校を優先に耐震補強工事を進めています。計画では平成24年度末をもって耐震補強工事が完了する予定です。

**問** 龍野事業高等学校の跡地利用について、たつの市は童謡の里宣言をされ、毎年童謡の祭典もされている。そこで童謡の里公園や美術館等の施設にしているのか。(婦人会)

**答** 高校の建物を利用しようとすれば耐震補強工事が必要です。ご意見については、そ

ういう案もあるということ、ご理解ください。

**問** 公民館の使用は、二週間前までに申請しないと使用できない。空いているのであれば前日申請でも使わせていただきたい。(老人会)

**答** 原則は使用する5日前までに申請することになっていますが、できるだけ柔軟に運用できるように考えます。



**問** 7時、5時、10時と聴こえていた赤とんぼの曲が、ここ半年鶏籠山から北の方では聴けなくなり寂しく思っています。子供たちの安全安心のためにも、続けていただきたい。(中学校PTA)

**答** 青少年の健全育成ということで赤とんぼを流しています。朝は「やかましい」との苦情もあり、また、逆に「聞こえにくい」という意見もあります。微調整が難しいですが、皆さんに了解していただける音量にしたいと思っています。

## 小宅地区

**問** 新しくなる本龍野駅や新型車両を活用して人々がふれたい。例えば、姫新線に私たちがデザインした皮革で作ったマスケットを置いたり飾ったりしたら地場産業がアピールできるのでは。(小学生)

**答** 駅舎の中に販売所や交流広場をつくる計画です。駅前の「まちづくり協議会」を通じて皆さんと一緒にまちづくりを進めていますので、ご協力をお願いします。



**問** 学力低下が叫ばれる中、放課後の時間を利用して授業の補習があればいいと思う。塾も良いですが、お金を掛けないで誰でも気軽に学習できる機会があれば学力の向上が図れるのでは。(中学生)

**答** 本市の中学生の学力は決して劣っていません。勉強は

継続的にすることが大切です。もし、学力が落ちて不安に感じることがあれば、先生にどんどん聞いて欲しいと思います。

**問** 姫新線中村第一踏切の見通しが悪く危険なので、踏切前後のスロープを緩やかにして欲しい。また、小宅地区では盗難が多発している。市内の主要な箇所には防犯カメラを設置して欲しい。(自治会)

**答** JRと協議しながら対策を考えたいと思います。

カメラの設置は、プライベートの問題もありますので、今後検討します。

**問** 若い女性を中心に婦人会離れが進んでいる。働きながら活動に参加することは時間的にも労力的にもかなりの負担である。決してボランティア精神が乏しくなって参加しないわけではなく、こうした現状を行政も一緒に考えていただきたい。(婦人会)

**答** 婦人会の活性化に対する意見書をいただいています。その内容も検討させていただきます。できるだけ婦人会の立場から考え、協力させていただきます。また、連合自治会や連合婦人会の理事会でも活性化の意

見をとりまとめたと思います。

**問** 平成18年度から3年間高齢者いきいき交流助成事業が実施されたが、平成21年度からは活動助成費がなくなった。是非、補正予算で事業を復活させていただきたい。(老人会)

**答** この事業は地域間交流を盛んにする目的で3年間の補助事業でした。現在は、地域振興補助事業があります。これは各地域での交流事業に対する補助です。昨年度までは上限10万円でしたが、今年度から上限30万円となっています。

**問** 安心して子供を産んで育てる観点から、近くに産婦人科が欲しい。また、乳幼児の緊急医療、特に夜間の緊急医療の充実を図ってほしい。(小学校PTA)

**答** 昨年の12月頃から市内で開業してもらえよう努力したのですが、相手の都合により断念された経緯があります。今後も努力していきます。小児科は、御津病院で設置できないかと引き続き努力しております。救急医療については、休日夜間急病センターもありますのでご利用ください。

**問** 消火栓の蓋が四角形から円形に変わってきている。円形は鍵がないと開かないが、鍵は消防団だけが持っている。自治会は、このことを把握されているのか。(消防団)

**答** 危機管理課で消火栓ボックスに対しての補助がありますので、鍵の補充もその制度を利用してください。

**問** タクシー券は、70歳以上で車がないこと等の制約があります。民生委員の判断で、ある程度の幅を持たせて欲しい。(民生・児童委員)

**答** 柔軟に対応されたい気持ちちはよく分かります。しかし、福祉制度ですから、どこかで線を引かざるを得ません。規制の緩和は検討させていただきます。



**問** 最近農家が少なくなり農業用水路の清掃が難しい状態である。水路改修の加速化を。(農会長)

**答** 農業用水路の改修は二分の一の補助があります。もう

少し緩和する検討も必要ですが、現在の補助でお願いします。

## 揖西地区

**問** 中垣内川にはホタルが生息しているが、川が汚く数が減っている。このままだとホタルがいなくなるのも時間の問題。市を挙げて、ごみのポイ捨てに関する取組をして欲しい。(小学生)

**答** マナーの向上を目的に看板の設置や広報等で啓発を行っています。ゴミのないホタルの飛び交うまちにしていきたいので、地域で行われるクリーン作戦等へ積極的に参加していただきますようお願いいたします。

**問** 安心して登下校できるように街灯を増やして欲しい。(中学生)

**答** PTAが自治会を通じて要望書を提出していただいたら、現地を確認して検討します。

**問** 土師土地区画整理事業の残地がかなり更地で残ったままである。今後の見通しについて教えて欲しい。更地の網を緩和していただき、アパートを建てるぐらいはできるよ

うにして欲しい。また、税金の優遇措置も検討願いたい。(自治会)

**答** 現在、物流地域17.8ヘクタールの内、7.8ヘクタール、44%に企業が進出しています。残り56%に税金優遇措置は現在のところありません。緩和については一度実施していますが、今後も検討していきます。



**問** 揖西からJR電野駅に向かう鳥坂の工事は、いつ完成するのか。この道は狭くて大型車が通ると渋滞することもあり、非常に危険で、早期の完成を望む。(婦人会)

**答** 県道ですので、県へ工期を確認し、連絡させていただきま

**問** 平成18年度から実施されていた高齢いきいき交流助成事業が、本年度から全額カットされてしまった。とてもいい事業ですので復活していただきたい。(老人会)

**答** 3ページ小宅地区老人会の回答と同様。

**問** 登下校時の安全確保のため、要所に押しボタン式信号機の設置をお願いしたい。また、学校前の道路は通学路ですが、歩道が整備されていない。計画的に歩道の整備をお願いしたい。(小学校PTA)

**答** 市内で年間に信号機が設置されるのは2・3機程度です。公安委員会が設置しますので自治会を通じて要望書を提出していただければ、市から公安委員会へ要望していきます。道路整備については、年次計画を策定し整備していきたいと思

**問** 学校給食のお米は、たつの市産を使用しているのかお尋ねしたい。また、給食は、地産地消をお願いしたい。(農会長)

**答** 概ねたつの市産を使用しています。また、野菜についても地元産を使う方向で進めています。

**問** 揖保町にあつたら良いと思うものが3つある。①野球

## 揖保地区

やサッカーができる広い広場が欲しい。②街灯やカーブミラーをもっと設置して欲しい。③近くにスーパーマーケットが欲しい。(小学生)

**答** ①揖保中には河川敷に芝生の広い公園があるので利用してください。②設置して欲しい場所を、自治会を通じて要望してください。③出店計画等がありましたら、地元の要望が反映できるよう商工会議所等と密に連絡取り合せて進めていきます。

**問** 揖保は民家が多く、道路も狭いため道路でボール遊びをすると危険である。公園ができるかと安全に遊ぶことができる。また、地域のイベントも開催でき、地域の活性化が図れるのでは。(中学生)



**答** 揖保町には公園が3つあります。現在、大型プロジェクトで揖保町南に橋を建設し、また、トンネルも建設します。多くの費用が必要であるため、

その事業が終わり次第、検討していききたいと思います。

**問** 公民館は地域の緊急避難場所なので、各自治会の公民館の耐震化工事も補助制度を設けて欲しい。(自治会)

**答** 現時点の補助制度でお願いしたいと思います。

**問** 産婦人科ができること喜んで矢先、事情により実現が難しいとの新聞報道があり、残念である。小児科、産婦人科の設置は若いお母さんには切実な問題である。引き続き実現に向けて努力していただきたい。(婦人会)

**答** 3ページ小宅地区小学校PTAの回答と同様。

**問** 平成18年度から3年間高齢者いきいき交流助成事業が実施されたが、平成21年度は活動事業費が出なくなった。新しい事業として、いきいき健康スポーツ交流活動事業といたことで復活して欲しい。(老人会)

**答** 3ページ小宅地区老人会の回答と同様。

**問** 昨年、一人暮らし高齢者や障害者宅を訪問し、生活支

援個票としてまとめ、市に提出したが、自主防災組織に届いていないようである。災害弱者に対する支援体制が十分でないように思うのだが。(児童・民生委員)

**答** 個票は福祉部局で整理し6月から自主防災組織へ説明に行かせていただきます。自主防災組織の方には12月に文書でお知らせしています。2020年を考える会から「安全安心のまちづくりのために」という提言書もいただいています。その中で、ボランティア協会と応援協定を結んではどうかとの意見もあり、今後協議していききたいと思います。

### ■ 誉田地区 ■

**問** 期限のある配布物等は回覧期間も考慮して配布して欲しい。また、配布物のサイズがバラバラですと非常に整理し難いため、サイズを統一して欲しい。(自治会)

**答** 「広報たつの」や「おしらせ版」に掲載することで、配布物を減らしています。特に市民に周知する必要がある場合は臨時的にお願いしているところですが、配布のタイミングやサイズ等は注意します。

**問** 住宅用太陽光発電パネルを設置される住宅が増えているが、国が設置の助成をしているが、市の対応をお尋ねしたい。相生市は助成されていると聞いている。(婦人会)

**答** 市の助成については他市も参考にしながら検討したいと思っています。

**問** 3年間高齢者いきいき交流事業が実施されたが、本年度は助成がなくなった。私たちが交流事業は継続すべきと考え、今年度も交流事業を計画しているが、自費での参加となる。今後の高齢化社会を考えると、交流事業の継続が必要と考えるので予算の復活をお願いしたい。(老人会)

**答** 3ページ小宅地区老人会の回答と同様。

**問** 日本の食糧自給率は40%。先進諸国の中でも群を抜いて低く日本は輸入が止まると大変なことになる。また、食の安全面のことを考え、無農薬あるいは最低限の農薬しか使わないお米や野菜を地元で生産し、地元で食べられると安心できる。(小学校)

**答** 食の安全、地産地消については、そのとおりだと思います。市としても、いろいろな野菜を作っていたり、農家を少しでも増やしたり、直販の場所を拡大したり、営農組合をつくるなど、様々なことに取り組んでいます。今後とも農業を活性化させていきたいと思っています。

**問** 地球に優しいまちとして、学校や公民館の屋上にソーラーパネルを設置したり、小さな風力発電機を設置したりして、電気の一部をソーラーエネルギーに切り替えることを検討して欲しい。また、市の公用車をハイブリッド車や電気自動車に切り替えることにより、市が率先して地球に優しいあり方をPRして欲しい。(中学校)

**答** ソーラーパネルは順次設置できるところから設置しています。市では地球温暖化防止実行計画を策定しています。また、職員も近隣の移動には自転車を利用したり、昼休みには電気を消すなどして、市の職員も地球温暖化防止対策に取り組んでいます。

**問** ニートリア等による鳥獣

被害に困っている。また、内山には4つの池があるが、子供が釣りに来て非常に危険である。何か対策をお願いしたい。(農会長)



**答** 鳥獣被害は市内全域で問題となっております。この6月に補正予算で檻を購入させていただきました。市としても対策を少しずつ進めたいと思っています。

釣りについては、夏休みに入りますので、学校と相談して注意を促したいと思います。

**問** 昨年もお願いましたが、林田川の中井橋から鉄橋の間の雑木が撤去されていない。国土交通省に任せきりではなく、市と消防団で協力して撤去してはどうか。(消防団)

**答** 国土交通省には要望していますが、なかなか撤去していただけません。市や消防団で実施できるようにしたら協議させていただきます。

**問** 屋外の行事は菅田スポーツ公園を使用しているが、夾竹桃の下に雑草が生え会員が草刈をしている。環境美化からもアジサイを植え、公園の環境づくりに役立てたいと考えている。(スポーツクラブ21)

**答** 基本的には差し支えないと思います。植栽の範囲等は協議させていただきます。

**問** 菅田町の休耕田は5割あると思う。その内8割は農業機械も入らないような放棄田となっている。農道や水路を計画的に整備する必要があると思うが、市はどのように考えているのか。(一般)

**答** 基本的に農地を管理するのは所有者です。次に集落でどのように農地を守っていくか考えることになると思います。基盤整備は地元でどうするのが一番良いのか話し合ってくださいたいです。市としてもご相談にのらせていただきます。

## 神岡地区

**問** 私たちが出す二酸化炭素で多くの命がなくなっている。家庭から出る天ぷら油は車の燃料になり、小学校にも廃油ボックスを置いてある。捨て

られる油にもう一度命を吹き込む活動にご協力をお願いしたい。(小学生)

**答** バイオ燃料はパッカー車やダンプにも使用させていたでいています。神岡小学校では段ボールを使って生ごみの堆肥化にも取り組んでいただき感謝しています。これから地球に優しいエコ生活をしていただき地球温暖化防止に積極的に取り組んでください。



**問** 中学生が徒歩や自転車で行ける図書館の設置場所を増やし、より身近な施設にして欲しい。また、それぞれの世代に合う本や話題の本も揃えて欲しい。(中学生)

**答** 市内には4つの図書館があり、新たな設置は考えていません。利用しやすいように共通の図書カードを作成して

います。また、学校単位で貸出できる団体貸出制度もあります。最大で200冊余り、期間にして1か月程度貸出できますので利用してください。メディアに取り上げられた本を積極的に購入していますが、図書館にない場合はリクエストしてください。

**問** 神岡公民館の駐車場を広くして欲しい。現在、路上駐車するなど、交通安全上問題がある。多少歩いても良いと思うので近くに確保して欲しい。(自治会)

**答** 教育委員会が管理しています。ゲートボール場の西側半分と神岡幼稚園の屋外運動場を利用できるようにしています。遠いですが構造改善センターも利用してください。大きな行事の場合は、公民館周辺の土地所有者や自治会の協力を得て一時的に確保したいと考えています。また、地球温暖化防止のためにも、徒歩か乗りを考えていただくとありがたいです。

**問** 秋以降のインフルエンザ対策について、婦人会としても、周知徹底することがあれば協力させていただきたい。12月

に婦人会の研修を計画しているのですが、何かできることがあれば教えていただきたい。(婦人会)

**答** 婦人会への連絡は事務局を通じて緻密にさせていただきますので、その折にはご協力をお願いします。

**問** コミュニティバスの利用率が非常に低いのでは。安くして便利だが、車や自転車に乗れないお年寄りが乗り場まで行くのは苦勞する。デマンド方式のような、希望者がお願いで運行する方法も検討してはどうか。(老人会)

**答** コミュニティバスを必要とされる一方で利用者が少ないとの批判もあります。現在、地域公共交通会議で公共交通機関のあり方を検討しています。9月頃にはある程度の方向性を出す予定です。高齢者タクシーに切り替えるとか、いろいろな方法があると思います。貴重な意見として今後の会議で検討します。

**問** インフルエンザ対策について、マスクや消毒液の備蓄をお願いしたい。(小学校PTA)

**答** マスクの着用等について

は、学校教育の中で教えていきたいと思えます。また、消毒液等の備蓄は国の予算等を活用して、努力していきます。

**問** コミュニティバスの空車をよく見かける。人件費や燃料代もいるでしょうから、その分をタクシース券に回してはどうか。次にタクシース券の申請ですが、個人情報関係で、直接高齢者に郵送されるため、紛失されたりするケースがある。以前のように民生委員へ郵送していただき、一括で申請できるようにして欲しい。(民生・児童委員)

**答** コミュニティバスについては、公共交通会議で検討されていますので、その結果を踏まえて高齢者タクシース券も見直したいと考えています。申請については高齢者の方の同意が得られれば可能だと思いますので、今後検討します。

写真と質問内容とは、一致していません。他の地域の提言については、広報9月号以降に掲載します。